

平成30年度事業報告

法人の概況

1 名称

公益財団法人福島県文化振興財団

2 設立年月日

昭和45年8月1日（公益法人移行登記 平成26年4月1日）

3 目的（定款第3条）

この法人は、福島県の芸術文化の振興及び文化財等の調査研究、保存、活用等を図り、もって県民の教育、学術及び文化の振興に寄与することを目的とする。

4 事業（定款第4条・第5条）

（1）公益目的事業（定款第4条）

- （ア）文学、音楽、演劇、舞踊等の芸術文化に関する事業
- （イ）文書、考古、民俗等の歴史資料の収集、研究、整理、保管及び展示等の事業
- （ウ）埋蔵文化財の調査、研究、整理及び保存などの事業
- （エ）文化財保護の教育普及並びに文化財の展示、保管及び研修に関する事業
- （オ）文化活動に関する助成及び顕彰に関する事業
- （カ）その他この法人の目的を達成するために必要な事業

（2）その他の事業（定款第5条）

- （ア）公益目的事業以外の施設貸与に関する事業
- （イ）物品の販売等に関する事業
- （ウ）その他この法人の公益目的事業の推進に資する事業

5 主たる事務所

福島市春日町5番54号

6 従たる事務所

白河市白坂一里段86番地

7 役員等に関する事項

評議員 9名 安齋睦男 五十嵐乃里枝 懸田弘訓 小松信之 齋藤美保子 澤田 修
新妻香織 馬目順一 安田清敏

理 事 12名 理事長 杉 昭重 副理事長 菊池徹夫 専務理事 大江孝治
小野利廣 金子市夫 新城猪之吉 須佐由起子 高城俊春 高萩阿都志
平田公子 山口哲子 渡邊和裕

監 事 2名 齋藤 忠 芳賀 裕

8 職員に関する事項

正規職員51名 派遣職員2名 出向職員5名 嘱託10名 計69名

9 役員会等に関する事項

開催日・場所	内 容	出席状況
第1回理事会 6月5日(火) とうほう・みんなの文化センター (福島県文化センター)	職務執行状況報告 決議事項 第1号 平成29年度事業報告承認の件 第2号 平成29年度計算書類等承認の件 第3号 評議員会招集の件 第4号 指定管理者申請の件 *監査報告 平成30年6月4日	理事12名中 12名出席 監事2名中 2名出席
第2回理事会 6月25日(火) ザ・セレクトン福島	決議事項 第1号 理事長、副理事長及び専務理事 選定の件	理事12名中 10名出席 監事2名中 1名出席
第3回理事会 平成31年3月25日(月) ザ・セレクトン福島	職務執行状況報告 決議事項 第1号 平成30年度事業一部追加の件 第2号 平成30年度補正予算の件 第3号 経営計画承認の件 第4号 平成31年度事業計画承認の件 第5号 平成31年度予算承認の件 第6号 平成31年度資金調達及び設備投資の件 報告事項 第1号 規程改定及び規則等改定の件	理事12名中 11名出席 監事2名中 2名出席
定時評議員会 6月25日(火) ザ・セレクトン福島	報告事項 第1号 平成29年度事業報告の件 決議事項 第1号 平成29年度計算書類等承認の件 第2号 評議員、理事及び監事選任の件	評議員9名中 8名出席 理事12名中 3名出席 監事2名中 1名出席

10 外部監査等

福島県監査委員会 財政的援助団体等団体監査 実施日 11月27日(火)
(事務局調査 実施日 9月21日(金))

11 重要な契約に関する事項

「福島県文化センターの管理に関する平成30年度協定」(福島県)
「福島県文化財センター白河館の管理に関する平成30年度協定」(福島県教育委員会)
「埋蔵文化財発掘調査委託契約」(福島県教育委員会)
借入金、資産の売却等の事項はありません。

12 収支及び正味財産増減の状況並びに財産の推移 (単位；千円)

事業年度	平成29年3月期	平成30年3月期	平成31年3月期
前期繰越収支差額	△13,341	△6,561	△7,637
当期収支差額	6,780	△1,076	972
次期繰越収支差額	△6,561	△7,637	△6,665
資産合計	2,096,444	2,143,094	2,205,033
負債合計	520,967	543,272	558,077
正味財産	1,575,477	1,599,822	1,646,956

事業の概況

I 公益目的事業

公1 芸術文化に関する主催公演の開催、文化施設の貸与、歴史資料の収蔵・展示等を通じた文化振興事業

1 芸術文化振興事業

芸術文化の力により東日本大震災及び原発事故からの「こころの復興」と「文化の復興」そして「次代の福島県を担う人材の育成」に貢献するため、県民が幅広く優れた芸術文化に触れる機会を提供することを目的に次の事業を実施しました。

(1) ふくしま文化復興事業

(ア) キッズシアター

子どもの感性や情緒を育み、創造的で、個性的な心の働きを豊かにすることを目的とし、開催地教育委員会等との共催により、子どもたちが楽しめる良質な演劇公演を実施しました。(入場者数9,796名)

実施期間 6月13日(水)～7月6日(金) 開催地 会津若松市ほか4市3町 15公演

(イ) 子どもの芸術文化体験事業

復興を担う子どもたちの健全な育成に資するため、当財団が実行委員会を組織し文化庁からの委託を受け、音楽や身体表現、伝統芸能などのジャンルのアーティストを県内の幼稚園や学校等に派遣しました。(入場者数5,556名)

実施期間 8月7日(火)～平成31年1月31日(木) 6ジャンル 20プログラム

(ウ) 歴史再発見事業

噴火130年を迎える磐梯山を見学し、火山災害による被害状況やそこからの復興の様子について学習する日帰りのバスツアーを実施しました。また、福島県の歴史を見つめなおす機会を提供するため、福島県における歴史的災害をテーマとした講演会を開催しました。

a 歴史再発見ツアー 実施日 10月28日(日) 場所 磐梯山噴火記念館ほか
(参加者数32名)

b 歴史再発見講演会 実施日 平成31年1月20日(日) 場所 2階会議室
(入場者数133名)

(エ) 復興共催事業

文化芸術による福島復興を目的に、文化センターを会場に行われる著名アーティストの公演等を地元の報道機関等との共催により実施しました。(入場者数24,636名)

a 切り絵画家久保修「切り絵で描くジャポニズム」

実施期間 4月1日(日)～5月6日(日)

b 南こうせつ 伊勢正三SPECIAL CONCERT2018

実施日 4月7日(土)

- c 森のささやきが聞こえますか？—倉本聰の仕事と点描画展—
実施期間 7月15日（日）～8月31日（金）
- d 遠藤千晶×日本フィルハーモニー交響楽団～ザ・コンチェルト in Fukushima～
実施日 7月16日（月・祝）
- e May J. Tour 2018
実施日 8月26日（日）
- f 徳永英明 HIDEAKI TOKUNAGA CONCERT TOUR 2018 『永遠の果てに』
実施日 10月13日（土）
- g ディズニー・オン・クラシック ～まほうの夜の音楽会～
実施日 10月21日（日）
- h 市川海老蔵 古典への誘い2018福島公演
実施日 11月13日（火）
- i アラウンド40メモリーコンサート
実施日 12月1日（土）
- j めざましクラシックス in 福島
実施日 平成31年3月16日（土）
- k 齋正機の世界展～ふくしまものがたり～
実施期間 平成31年3月27日（水）～4月14日（日）

（2） 舞台芸術等鑑賞事業

（ア） 古典劇場

日本古来の伝統芸能の継承・普及を目的に、松竹大歌舞伎を実施しました。

- a 平成30年度古典劇場「松竹大歌舞伎公演」
実施日 7月11日（水） 場所 大ホール 1回公演（入場者数1,259名）
- b 歌舞伎プレセミナー
実施日 6月27日（水） 場所 小ホール（入場者数105名）

（イ） マイホールコンサート（ワークショップ）

マイホールコンサートを行う上での舞台準備過程を理解してもらい、実際の演奏に合わせて自分たちでオペレーションを行い、舞台技術の基礎を学ぶことを目的に実施しました。（参加者数16名）

実施日 平成31年1月13日（日） 場所 小ホール

（ウ） 映画鑑賞事業

- a 子ども映画会
子どもたちの健全な育成を目的に、学校の夏休み期間中に子ども向けのアニメーション作品等の映画を上映いたしました。（入場者数 421 名）
実施日 7月23日（月）・30日（月）、8月3日（金） 場所 小ホール

b 名作シネマ

優れた映画の鑑賞機会を提供し、映画鑑賞人口の増加と映像文化の振興を図ることを目的として、文化庁優秀映画鑑賞推進事業を利用し、歴史に残る名画を上映しました。
(入場者数362名)

実施日 12月11日(火)・12日(水) 場所 小ホール

(3) 共催事業

(ア) 第72回福島県総合美術展覧会 実施日 6月15日(金)～24日(日)

主催 福島県他 場所 2階・3階展示室

(イ) ファミリーシアター 実施日 9月9日(日)～12日(水)

10月1日(月)～4日(木)

主催 公益社団法人日本児童青少年演劇協会他 開催地 棚倉町ほか6町1村

(4) 後援事業

本県の文化活性化のため、関係機関・文化団体・報道機関等からの申請により後援しました。

(ア) 前進座青少年劇場公演『龍の子太郎』 実施日 6月24日(日) 場所 大ホール

(イ) 第42回福島県書道連盟選抜展 実施期間 10月11日(木)～14日(日)

(ウ) 齋藤勝正日本画展 実施期間 10月17日(水)～28日(日)

(エ) 第46回福島県写真展 実施期間 10月30日(火)～11月4日(日)

(オ) 東日本大震災復興祈念「伊藤若冲展」

実施期間 平成31年3月26日(火)～5月6日(月・祝)

2 福島県文化センター関係事業

福島県文化センターの指定管理者として、福島県との基本協定、年度協定に基づき下記施設の管理運営の業務を行いました。

また、大ホールは12月25日から平成31年2月26日まで、小ホールは平成31年2月4日から2月26日まで、舞台設備改修工事のため利用休止となりました。

(1) 受託施設

施設名	敷地面積	延面積	建築面積
福島県文化会館	26,525㎡	9,826㎡	5,157㎡
福島県歴史資料館		1,612㎡	749㎡

(2) 年間利用者数及び利用料金収入

施設名	利用者数 (目標値)	利用料金収入額 (目標値)
福島県文化会館	277,772名 (340,000名)	585件 49,995,927円 (48,000,000円)
福島県歴史資料館	13,440名 (15,000名)	—

(3) 福島県文化会館関係事業

条例に掲げられた設置目的に基づき、多くの県民が集い、日常的に芸術文化とのふれあいを持つことができる、県民本位、利用者本位の開かれた施設を目指し、その機能が十分に発揮できるよう施設の管理運営にあたりました。

(ア) 施設及び設備の使用許可に関する業務

a メンテナンス日を除いた年間開館日数は、臨時開館40日を含め346日となりました。
利用時間は午前8時30分から午後10時までとして、時間外についても柔軟に対応しました。

b 利用者総数 277,772名 (対前年度 105.8%)
館内利用者数 249,596名
窓口利用者数 12,792名
館外利用者数 15,384名 (館外で実施した芸術文化振興事業の参加者数)

(イ) 利用料金の徴収、免除の決定に関する業務

a 利用料金収入額 49,995,927円 (対前年度 115.6%) 利用件数585件
(うち公益目的事業 32,541,206円 利用件数 204件)
b 利用料金の免除 県との協議により利用料金の免除基準を定めて実施しました。
免除件数 183件 免除額 24,316,513円
c 利用料金後納制を継続して行い、利用者の負担軽減を図りました。

(ウ) 施設の使用に関する支援業務

a 会場下見や打ち合わせを入念に行い、利用者が安心して本番を迎えられるように努めました。
b 夜間・早朝利用など利用者の要望に臨機応変に対応し、行事がスムーズに進行するように支援しました。

(エ) 施設及び設備の維持管理

a 施設・設備の日常点検及び専門業者による定期点検を実施し、不具合報告等がされた軽微な建築設備関係の修繕を行い、事故防止に努めました。
b 老朽化している施設・設備の計画的な営繕工事及び備品等の更新を引き続き県へ要望しました。
c ネーミングライツの導入により県が購入した舞台設備関連備品 (LED照明機材等) を利用に供し、適正に管理を行いました。

(オ) アートマネジメントに関する業務

a 文化イベントの企画立案から運営まで利用者の要望に応じて支援しました。
b 全国や東北地区の公立文化施設との連携による文化事業の実施に取り組むとともに、県内の公立文化施設の取りまとめ館として研修会の実施や文化事業に関する連携、情報提供を行いました。
c 文化会館の壁面等のスペースを活用して作品発表の場 (ルネサンス広場) を提供しました。

(カ) 文化情報の発信

a ホームページによる情報発信

イベント情報の案内として、文化センターで開催される催事を紹介する「催し物案内」と東日本大震災からの復興に資する「ふくしま文化復興事業」、財団の「主催事業」、報道機関等との「共催事業」に分けて分かりやすく掲載しました。

b メールマガジンの発行

メールマガジンでは、文化センターの催し物案内のほか、県内にイベント情報の配信サービスを無料で提供しました。メールマガジン登録者数は、1,243名（平成31年3月末現在）となりました。

(キ) 県内イベント情報の提供

県内の文化施設や文化団体、行事の主催者から集めた文化イベント情報をホームページに掲載しました。情報は音楽、演劇・舞台、展示、自主上映、講演・講座、その他のジャンルに分けて掲載し、利用者が検索しやすい構成にしました。

また、文化情報誌に掲載しきれない情報については、ホームページで情報提供を行いました。ホームページの年間アクセス数は、102,178件（平成31年3月末現在 対前年度77.8%）となりました。

(ク) 文化情報の機関誌の発行

a 本県文化に関する県民の理解を深め、積極的な文化活動への参加を促すことを目的として、文化情報誌『ふくしま文化情報』を発行しました。

b 本県の文化活動を支援するため、様々な文化情報を掲載し、読み易い紙面づくりを心がけました。また、ネーミングライツ協力金融機関の各店舗へ配布し、より多くの方が入手できるように努めました。

発行回数 年10回 発行部数 6,500部（1・2月、7・8月合併号は7,000部）

配布先 市町村、学校、文化施設、文化団体、報道機関、イベント事業者、交通機関、飲食店、病院、金融機関等

(ケ) 指定管理者としての創意工夫

a 館内にアンケートボックスを設置しているほか、催事主催者にもアンケートを実施し、軽微な事項は直ぐに対応しました。また、施設構造上の問題等に関する事は、優先順位をつけて県に改修の要望をいたしました。

b 文化会館と歴史資料館の月間の催し物予定を文化情報誌『ふくしま文化情報』に掲載し、県内文化施設や駅、観光スポット等に配布して文化センターの催し物の広報に努めました。

c 福島駅周辺の地下道に文化センター催し物案内を掲示し広報に努めました。

d 県内の文化施設や文化団体等から収集した催事のリーフレットやポスター、チラシを、地域ごとに分類して来館者に提供しました。

e 古典劇場「松竹大歌舞伎公演」の開催に当たって、インターネットによるチケット販売を実施して利便性向上を図りました。

f 福島県文化会館内に財団情報コーナーを設置し、財団の事業活動の周知及び福島県歴史資料館、福島県文化財センター白河館の来館者増に努めました。

g インターンシップに賛同し、研修生2名を9月3日（月）～8日（土）まで受け入れました。

h 芸術文化振興事業の運営に携わるボランティアを募集し、古典劇場「松竹大歌舞伎公演」、「子ども映画会」「名作シネマ」事業実施の際に、入場受付、会場アナウンス、客席案内等の活動を行いました。

（4） 福島県歴史資料館関係事業

指定管理者として、福島県との基本協定、年度協定に基づき、歴史資料の収蔵・展示・講習会などを通じた文化振興事業を実施しました。

文化会館に準じ、メンテナンス日を除いた福島県歴史資料館の年間開館日数は346日となりました。

（ア） 県に関する文書資料、考古資料、民俗資料その他の歴史資料の収集、整理、保管及び展示に関すること

a 県内外諸家文書の収集等

資料調査の依頼を受け、個人蔵の資料調査を行いました。また、市町村が新たに刊行した自治体史や資料目録などから資料所在情報の把握に努めました。

日本赤十字社福島県支部文書を受け入れたため、収蔵総数は、行政文書の簿冊48,876冊を含めて254,364点（平成31年3月末現在）となりました。

b 資料整理業務

福島県の歴史に係る行政文書・古文書などの資料のクリーニング、補修、一覧作成など、約3,000点の歴史資料を整理しました。

c 展示公開業務

① 戊辰150年「村人たちの戊辰戦争」 実施期間 4月21日（土）～8月19日（日）

戊辰150年を記念し、村人の視点から戊辰戦争がふくしまの地域社会に与えた影響を具体的に紹介しました。また、磐梯山噴火130年を記念し、トピックス展示「磐梯山噴火」コーナーを設け、当時の災害の様子を紹介しました。

② 只見線復旧応援「奥会津の古文書—三島町・金山町・昭和村を中心に—」

実施期間 9月8日（土）～12月24日（月・祝）

只見線復旧を応援する展示の第2弾として、三島町・金山町・昭和村にゆかりのある古文書を展示し、只見川・野尻川沿いの村々での暮らしや自然災害の状況などを紹介しました。

③ 「新公開史料展」 実施期間 平成31年1月19日（土）～3月24日（日）

収蔵資料目録第49集で公開した伊達郡森山村（現国見町）の地方文書である「森山区有文書」「佐久間成章家文書」と安達郡本宮村（現本宮市）ゆかりの「國分泰雄家資料」を展示し、それぞれの文書群の特徴や史料の魅力を紹介しました。

d 歴史資料館収蔵資料の公開

① 未公開であった収蔵資料を整理し、その目録を作成し、『福島県歴史資料館収蔵資料目録』第50集として公開しました。

- ② 収蔵資料目録デジタル化の一環として、「明治期地籍図・地籍帳・丈量帳」の小字別検索目録の作成を継続し、新たに東白川郡・西白河郡の目録をホームページ上で公開しました。
- ③ 資料閲覧や写真掲載希望などへの対応業務を日常的に実施しました。
- ④ ホームページの年間アクセス数は、12,600件（平成31年3月末現在 対前年度110%）となりました。

(イ) 歴史資料に関する専門的又は技術的調査研究に関すること

- a 歴史資料の情報、収蔵資料の紹介、歴史資料の調査研究成果などを『福島県史料情報』として、第51号から53号まで3回刊行し、県・市町村をはじめとする関係機関に配布しました。
- b 展示公開などに資するため、収蔵資料の調査・研究を行い、その成果を収蔵資料展や『福島県史料情報』などに活用しました。

(ウ) 歴史資料に関する講演会、講習会、映写会、研究会などの主催及びその開催の援助に関すること

a 古文書講座の開催

歴史資料の利用促進を図るため、希望者を対象とした古文書講座を開講し、戊辰戦争に関する古文書をテキストとして4回実施しました。（参加者数延べ387名）

b 市町村史編纂に対する協力・援助

福島市史・相馬市史・原町市史・三島町史などの市町村史編纂に対する協力・援助を行いました。

c 市町村の生涯学習・歴史講座等への協力

市町村や生涯学習団体などが実施する学習会・講習会などに講師を派遣し、その開催を支援しました。

d 講演会・講習会・研究会

6月30日（土）に、福島県文化センター2階会議室で箱石大東京大学史料編纂所准教授・栗原伸一郎東北大学大学院文学研究科学術研究員・当財団学芸員3名の講師による地域史研究講習会を開催しました。（参加者数103名）

e 映写会

「日本の伝統文化」をテーマに、フィルム上映会を3回実施しました。

（参加者数延べ149名）

(エ) 提案によるその他の事業等

a 中学生の職場体験や大学の学芸員養成課程の博物館実習を実施しました。

b 「福島県歴史資料館友の会」の活動を支援しました。

（平成31年3月末現在の会員数125名）

c 災害時にともなう歴史資料の散逸を防ぐため、「福島県被災文化財等救援本部」「ふくしま歴史資料保存ネットワーク」の活動を支援しました。

d 他館と連携して以下の事業を実施しました。

- ① 8月31日（金）から11月4日（日）にかけて会津只見考古館・河井継之助記念館で実施した「奥会津の古文書―長谷部家文書の魅力―」の移動展を共催し、展示解説会（2回）に職員を派遣しました。
- ② 11月2日（金）から12月5日（水）の会期で福島県立図書館において「村人たちの戊辰戦争」の移動展を開き、11月25日（日）の関連講演会に講師を派遣しました。

公2 遺跡発掘調査及び出土文化財の劣化防止処理、文化財保護の教育普及を目的とした講演会や体験学習及び文化財の展示等の文化財保護事業

1 埋蔵文化財関係事業

(1) 埋蔵文化財調査

福島県教育委員会からの委託を受け、開発に伴う遺跡の記録保存のため、分布調査、発掘調査を行い、報告書を作成するとともに、市町村埋蔵文化財調査への技術協力を実施しました。

また、各事業に関する連絡・調整・進行管理及び庶務・経理事務などを行いました。

(ア) 遺跡分布調査事業

a	分布調査	1事業	400,000㎡
b	試掘・確認調査	4事業	36,000㎡
c	調査報告書刊行	1冊	

(イ) 遺跡発掘調査事業

a	発掘調査事業	9事業	41,480㎡
b	調査報告書刊行	3冊	

(ウ) 県内市町村埋蔵文化財調査への技術協力事業 3市5町3村 延べ12事業

(2) 文化財センター整備業務

福島県教育委員会からの委託を受け、脆弱資料の劣化防止・保存処理を行い、保管資料を福島県文化財センター白河館へ搬送しました。

(ア) 脆弱資料の劣化防止・保存処理業務

渡利分室機能移転のための作業として、桶師屋遺跡などの脆弱資料12,000件を、劣化の進行状況に応じた劣化防止処置を行いました。その他に鶴沼^{つるぬま}C遺跡や朴^{おけしや}迫^{ほうのきさく}D遺跡などから出土した木質・金属質遺物100件の保存処理を行いました。

(イ) 保管資料の搬送業務

渡利分室に保管されている植松^{うねまつ}C遺跡などの出土遺物855箱、桶師屋遺跡などの未処理の金属質・木質遺物38箱、谷地中^{やちなか}遺跡などの写真等41箱、併せて934箱の保管資料を整理し、福島県文化財センター白河館へ搬送しました。

2 福島県文化財センター白河館関係事業

福島県文化財センター白河館の指定管理者として、福島県教育委員会との基本協定及び年度協定に基づき、下記施設の管理運営を行いました。

(1) 施設管理業務

(ア) 受託施設

敷地面積	51,794.00 m ²
本館棟	2,337.73 m ²
収蔵庫棟	3,052.86 m ²
体験学習館	89.43 m ²
野外展示施設	縄文時代の家、前方後円墳、奈良時代の家、奈良時代の米倉、平安時代の製鉄炉、室町時代の館

福島県文化財センター白河館は、開館から17年を経過し、施設・設備の老朽化が進んでいます。このため、適宜修繕を加えながら維持管理を行っております。平成30年度は、屋内男性用トイレ、駐車場外灯設備、野外展示「縄文時代の家」入口等の修繕工事を実施しました。

(イ) 開館日数 311日（前年度 311日）

(ウ) 利用状況

総利用者数 35,846名（対前年度 104.0％）

入館者数 26,731名（対前年度 95.1％）（目標値 30,000名）

館外利用者数 (※) 9,115名（対前年度 143.3％）

※移動展、館外体験学習事業等

入館者数の地域別利用者状況

県内 21,743名（全体の81.3％）

県外 4,988名

入館者数の年齢層別利用状況

高校生以下 11,417名（全体の42.7％）

一般 15,314名

入館者数のうち団体利用 7,854名（全体の29.4％）

(2) 文化財の収蔵・保管及び活用に関する業務

(ア) 考古資料、考古資料以外の文化財及び文化財に関する資料の収蔵・保管

県教育委員会から搬入された総計56,411箱の出土品や写真・図面等の資料を収蔵・保管するとともに、館外への貸し出しや館内の資料閲覧、見学等の対応を行いました。

(イ) 考古資料、考古資料以外の文化財及び文化財に関する資料の展示

- a 常設展示室では、「暮らしのうつりかわり」コーナーの展示品を入れ替えました。
「話題の遺跡」「みんなの研究ひろば」「しらかわ歴史名場面」コーナーについては、県内自治体と連携して4～6回の展示替えを行い、特に冬季には、「東日本大震災復興関連事業にともなう埋蔵文化財の調査」の展示を開催しました。また、新たに「重要文化財公開」コーナーと「土器年代測定結果公開」コーナーを設け、それぞれ5回以上の展示替えを行いました。
- b 特別展示室では、収蔵資料展「J OMONワンダーランド」と「縄文土器の逸品」を開催し、多くの縄文土器を公開しました。

指定文化財展「白河市天王山遺跡の時代」では、県指定重要文化財の白河市天王山遺跡出土品をはじめ県内各地で出土した弥生時代後期の土器を紹介しました。

また、ふくしま復興展「はま・なか・あいづ再生史」では、過去の災害からの再生の歴史を紹介しました。

(ウ) 文化財に関する講演会等の開催

- a 館長講演会は、シリーズ「未来への考古学」と題して、5回実施しました。
- b 企画展の内容に関連するテーマを中心に、文化財講演会・講座を7回開催しました。

(エ) 文化財等を活用した体験学習の実施

- a 勾玉づくり、火おこしなどの常時体験型体験学習、土器づくりなどの募集型体験学習のほか、「おでかけまほろん」等の館外体験学習を行いました。
- b まほろん森の塾では、小・中学生の塾生が塩づくりや石庖丁づくりの体験を通して古代の技術を学び、その学習成果を展示に反映させました。
- c 「ゴールデンウィークまほろんまつり」、「まほろん感謝デー」などの体験イベントを年4回（延べ6日間）開催しました。

(オ) 文化財に関する情報発信

- a ホームページ等を利用して白河館の業務に関する情報や県内の文化財情報、文化財データベース等の情報を発信しました。
ホームページの年間アクセス数は、46,522件（対前年度99.8%）となりました。
- b 『まほろん通信』を年4回各4,000部発行し、県内の学校や県内外の教育機関・文化施設等へ配布しました。

(カ) 文化財に関する調査、研究を担当する市町村等の職員の研修

文化財を担当する市町村の職員等を対象として、基礎・専門・特別の3つの研修区分により、文化財の保護・活用技術や関連科学等の研修を行い、270名が受講しました。

(キ) 考古資料の保管及び文化財の保存・活用に関する専門的又は技術的な調査研究

- a 収蔵資料に付着した炭化物を用い、放射性炭素年代測定と炭素・窒素安定同位体比分析を行いました。
- b 5か年に渡る放射性炭素年代測定と炭素・窒素安定同位体比分析の調査研究成果を『研究紀要2018』に掲載しました。

(ク) その他の事業

a ボランティアの運営

登録ボランティア 30 名により、展示解説補助のほか、縄文時代の家及び奈良時代を家の燻蒸補助、文化財研修や体験イベントの開催補助などを行いました。

b 年報の発行

白河館運営に係る平成 29 年度の実績をまとめた『年報 2018』を発行しました。

c 博物館実習の実施

学芸員課程を履修する大学生を対象として博物館実習生を公募し、館内での実習を実施しました。

実施期間 9 月 12 日（火）～16 日（土） 5 日間 実習生 6 名

d 運営協議会の開催

白河館の適正な管理運営を図るため、各分野の専門家による協議会を 2 回開催しました。

実施日 10 月 6 日（土）、平成 31 年 3 月 2 日（土）

e 他機関との連携

以下の事業を実施しました。

① シンポジウム「ふくしまの未来へつなぐ、伝えるⅡ」

ふくしま歴史資料保存ネットワーク事務局との共催により、郡山市で開催しました。

② まほろん移動展「双葉高校史学部の歩み」

福島県立図書館、富岡町図書館、福島大学附属図書館、檜葉町コミュニティセンターにおいて開催しました。

③ 全国植樹祭 PR 会場への出展

福島県県南農林事務所からの求めにより、白河駅前に体験ブースを設置しました。

④ 移動水族館

公益財団法人福島県海洋科学館との連携により、白河館正面玄関前で実施しました。

⑤ 移動図書館

福島県立図書館との連携により、白河館正面玄関前で実施しました。

⑥ まほろん夏まつりへの他機関の出展

国立那須甲子青少年自然の家、国立磐梯青少年交流の家、那須高原ビジターセンター、那須平成の森フィールドセンターによる体験ブースを白河館内に設置しました。

⑦ いなわしろフェスティバルへの出展

国立磐梯青少年交流の家が主催する行事に体験ブースを設置しました。

⑧ なすかしの森ファミリーフェスティバルへの出展

国立那須甲子青少年自然の家が主催する行事に体験ブースを設置しました。

⑨ 那須ビジ秋まつりへの出展

那須高原ビジターセンターが主催する行事に体験ブースを設置しました。

⑩ まほろん冬まつりへの他機関の出展

国立那須甲子青少年自然の家による体験ブースを白河館内に設置しました。

公3 地域文化の振興を図るための助成及び顕彰事業

1 助成・顕彰事業

(1) 助成事業

県民の文化活動が自主的に活発に推進されるよう、個人又は文化団体等の活動を援助・奨励し、本県文化の振興に寄与することを目的として実施しました。

(ア) 助成件数 82件

【部門別内訳】

a	成果発表事業	64件
b	発表会等への参加事業	3件
c	文化団体への事業費	5件
d	特認事業	1件
e	文化財の保護事業	5件
f	文化振興による地域づくり事業	1件
g	伝統文化の保存・継承・発展事業	1件
h	被災者文化活動支援事業	2件

(イ) 助成金総額 12,999,000円

(2) 顕彰事業

本県文化の普及、向上、保存及び伝承に貢献した個人及び団体を顕彰しました。

(ア) 表彰式 実施日 平成31年2月7日(木) 場所 2階会議室

(イ) 件数 5件(3団体、2個人)

部門	種別	団体名・氏名	住所
美術	団体	喜多方イーゼル会	喜多方市
音楽	団体	相馬民謡同好会	相馬市
文学	団体	福島日輪川柳社	福島市
文学(短歌)	個人	伊藤 正幸	いわき市
郷土史誌	個人	吉川 貞司	郡山市

公4 本県復興に資するための文化振興事業

1 被災ミュージアム再興事業

福島県教育委員会からの委託により、原発事故に伴う避難指示区域に指定された双葉町・大熊町・富岡町の資料館から搬出した文化財について、福島県文化財センター白河館敷地内の仮保管施設において、資料保全作業のほか、写真撮影、目録作成などを行いました。

Ⅱ 収益事業

収 1 公益目的事業以外の施設貸与に関する事業

1 福島県文化会館の施設貸与

公益目的事業以外についても福島県文化会館の施設・設備の貸出しを行い、施設の有効活用を図りました。これによる利用料金収入は381件 17,454,721円となりました。

収 2 物品の販売等に関する事業

1 物品の販売等に関する事業

(1) 福島県文化会館関連事業

来館者の利便を図るため、チケットの受託販売、自動販売機による飲料販売、軽食・弁当販売等を行いました。

(2) 福島県文化財センター白河館関連事業

勾玉等の体験学習用の材料販売、企画展に合わせたオリジナル商品の開発を行い、販売しました。

平成30年度事業報告附属明細書

法人の概況関係

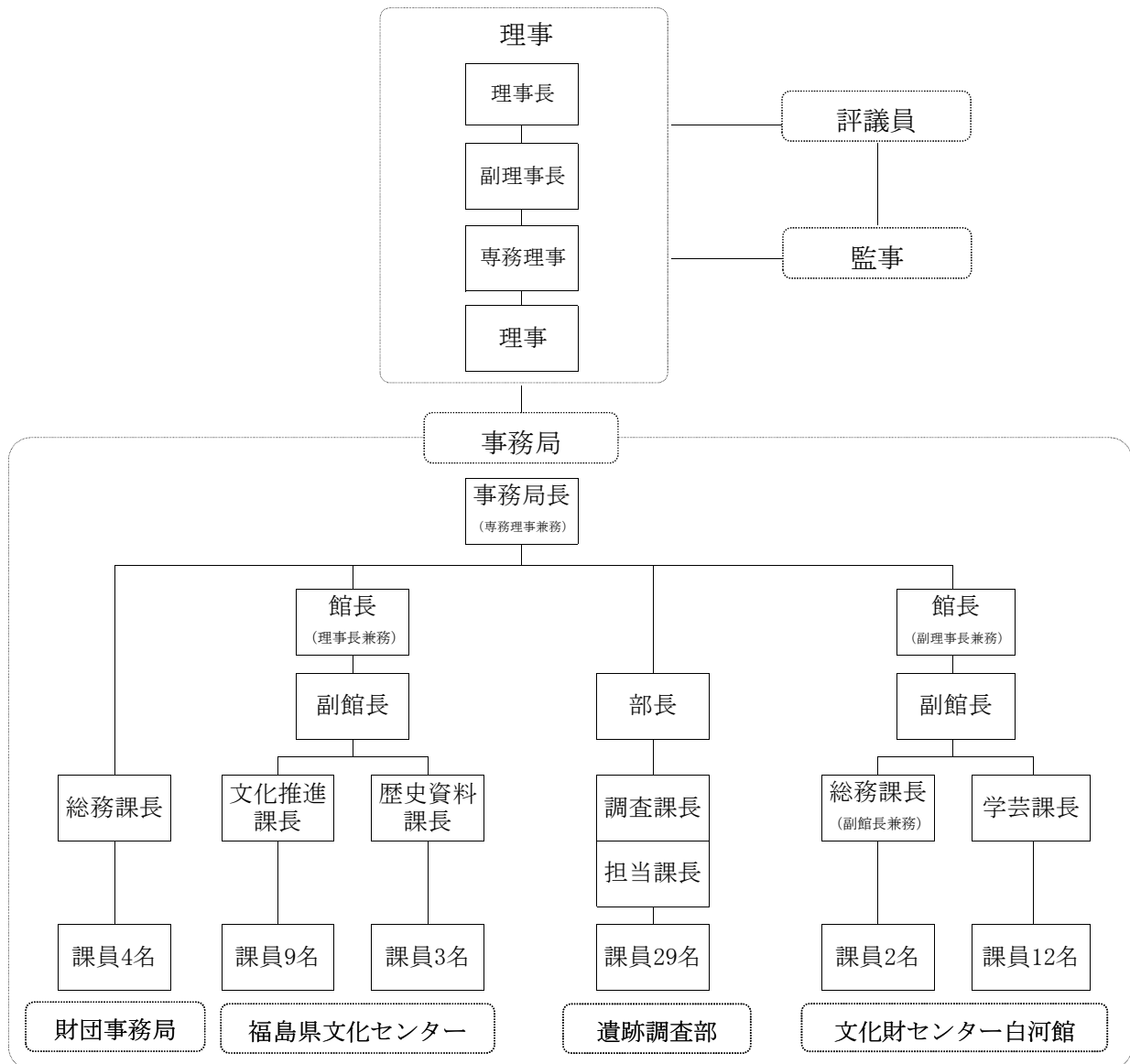
1 役員名簿

平成31年3月31日現在

	氏 名	職
評議員	安齋睦男	福島県企画調整部文化スポーツ局長
	五十嵐乃里枝	一般社団法人会津自然エネルギー機構代表理事
	懸田弘訓	福島県文化財保護審議会委員
	小松信之	福島県市長会常務理事兼事務局長
	齋藤美保子	郡山女子大学短期大学部副学長
	澤田 修	企業組合劇団風の子東北代表理事
	新妻香織	NPO法人フー太郎の森基金理事長
	馬目順一	いわき市教育委員会教育長職務代理者
	安田清敏	福島県町村会事務局長
理事長	杉 昭重	福島県文化センター館長
副理事長	菊池徹夫	福島県文化財センター白河館長 早稲田大学名誉教授
専務理事	大江孝治	事務局長
理 事	小野利廣	福島県南土建工業株式会社代表取締役 白河地区経営者協会会長 一般社団法人福島県建設業協会会長
	金子市夫	福島県企画調整部文化スポーツ局次長
	新城猪之吉	末廣酒造株式会社代表取締役 一般財団法人会津若松観光ビューロー理事長
	須佐由起子	元福島県教育委員会委員長 一般財団法人脳神経疾患研究所理事
	高城俊春	元福島県教育委員会教育長 福島県芸術文化団体連合会会長 公益財団法人東邦銀行教育・文化財団理事長
	高萩阿都志	株式会社タイヘイドライバーズスクール代表取締役社長 いわき中央地区交通安全事業主会会長
	平田公子	国立大学法人福島大学名誉教授
	山口哲子	宇都宮文星短期大学名誉教授 特定非営利活動法人福島・伊達精神障害福祉会理事
	渡邊和裕	一般社団法人日本旅館協会副会長、東北支部連合会長 福島市観光コンベンション協会会長
監 事	齋藤 忠	公認会計士
	芳賀 裕	司法書士

2 組織及び職員数

平成31年3月31日現在



役員 3名 兼務役員（理事長・副理事長・専務理事）のみ *うち県出身者2名

正規職員 51名 *うち県への出向職員2名

派遣職員 2名

出向職員 5名

嘱託職員 10名

小計 68名

臨時職員 24名

計 95名

事業の概況関係

公1-1 芸術文化振興事業関係

	事 業 名	期日・開催場所	内 容	入場者数	
(1) ふくしま文化復興事業	(ア) キッズシアター	開催日／6月 13 日(水) ～7月6日(金) 対 象／小学生 会 場／県内 5 市 3 町 (福島市・郡山市・ 須賀川市・白河市・ 会津若松市・国見町・ 川俣町・南会津町) 11 日間、15 公演	子どもの感情や情緒を育み、創造的で、個性 的な心の働きを豊かにし、道徳的な意識や 価値観を養うことを目的として、県内各地の 教育委員会等との共催により、子供たちが楽 しめる良質な演劇公演を実施しました。 演 目／「龍の子太郎」 出 演／劇団前進座	参加学校数 113 校 9,796 名	
	(イ) 子どもの芸術文化体験事業	実施期間／8月7日 (火) ～平成 31 年 1 月 31 日 (木) 実施回数／51 回 派遣講師／延べ 70 名	福島県の復興を担う子どもたちの健全な育 成を目的として、様々なジャンルのアーティ ストを県内の幼稚園や小・中学校等に派遣し、 優れた芸術文化に生で触れる機会を提供しま した。	5,556 名	
	(ウ) 歴史再発見事業	歴史再発見ツアー 対 象／小学生とその保 護者 開催日／10 月 28 日(日) 場 所／磐梯山噴火記 念館ほか	噴火 130 年を迎える磐梯山を見学し、火山 災害による被害状況やそこからの復興の様 子について学習する日帰りのバスツアーを実 施しました。	32 名	
		歴史再発見講演会 開催日／平成 31 年1月 20 日(日) 会 場／2階会議室	福島県の歴史を見つめなおす機会を提供 するため、福島県における歴史的災害をテー マとした講演会を開催しました。 1. 演題／「磐梯山噴火坑真図」を読み解く 講師／渡邊智裕(福島県文化センター 歴史資料課主幹) 2. 演題／「福島県内の遺跡で発見された災 害の痕跡」 講師／鶴見諒平(遺跡調査部調査課 文化財副主査) 3. 演題／「はま・なか・あいづ再生史」 講師／阿部知己(福島県文化財センター 白河館学芸課副主幹)	133 名	
	(エ) 復興共催事業	a 切り絵画家久保修 「切り絵で描くジャポニスム」	会 期／4月1日(日)～ 5月6日(日) 会 場／3階展示室	主 催／福島民報社	7,269 名
		b 南こうせつ 伊勢正三 SPECIAL CONCERT2018	開催日／4月7日(土) 会 場／大ホール	主 催／株式会社ギルドネクスト	1,680 名
		c 森のささやきが聞こえますか？ 一倉本聰の仕事と点描画展	会 期／7月 15 日(日) ～8月 31 日(金) 会 場／3階展示室	主 催／福島民友新聞社	5,028 名
		d 遠藤千晶×日本フィル ハーモニー交響楽団～ ザ・コンチェルト in Fukushima～	開催日／7月 16 日(月・ 祝) 会 場／大ホール	主 催／福島民報社	1,300 名
		e May J. Tour 2018	開催日／8月 26 日(日) 会 場／大ホール	主 催／株式会社エフエム福島	800 名
		f 徳永英明 HIDEAKI TOKUNAGA CONCERT TOUR 2018 『永遠の果てに』	開催日／10月 13 日(土) 会 場／大ホール	主 催／株式会社キョードー東北	1,700 名
		g ディズニー・オン・クラシック ～まほうの夜の音楽会～	開催日／10月 21 日(日) 会 場／大ホール	主 催／株式会社テレビユー福島	1,482 名
		h 市川海老蔵 古典への誘い 2018 福島 公演	開催日／11月 13 日(火) 会 場／大ホール	主 催／株式会社ニュース・プロモーション	1,690 名
		i アラウンド 40 メモリー コンサート	開催日／12月 1 日(土) 会 場／大ホール	主 催／株式会社ラジオ福島	1,200 名
		j めざましクラシックス in 福島	開催日／平成 31 年3月 16 日(土) 会 場／大ホール	主 催／株式会社福島テレビ	945 名
		k 齋正機の世界展 ～ふくしまものがたり～	会期／平成31年3月 27 日 (水)～4月 14 日(日) 会 場／3階展示室	主 催／福島民報社	1,542 名 (3 月末までの人数)
復興共催事業入場者数			24,636 名		

事業名			期日・開催場所	内 容	入場者数
(2) 舞台芸術等鑑賞事業	(ア) 古典劇場	a 「松竹大歌舞伎公演」	開催日／7月 11 日(水) 会 場／大ホール 対 象／一般	日本古来より民衆の生活に生き、育まれてきた日本伝統芸能の中でも人気の高い歌舞伎公演を実施しました。 演 目／ 一、近江のお兼(おうみのおかね) 二、曾我緋太夫御所染(そがもようてしのごしょぞめ) 三、高坏(たかつき) 出 演／尾上菊之助 他 制 作／松竹株式会社	1,259 名
		b 歌舞伎プレセミナー	開催日／6月 27 日(水) 会 場／小ホール 対 象／一般	「松竹大歌舞伎公演」に先がけ、歌舞伎の基礎知識や上演演目の見どころなどをわかりやすく解説するセミナーを実施しました。 講 師／葛西聖司(アナウンサー・古典芸能解説者)	105 名
	(イ) マイホールコンサート		開催日／平成 31 年1月 13 日(日) 会 場／小ホール 対 象／一般	マイホールコンサートを行う上での舞台準備過程を理解してもらい、実際の演奏に合わせて自分たちでオペレーションを行い、舞台技術の基礎を学ぶことを目的に実施しました。	16名
	(ウ) 映画鑑賞事業	a 子ども映画会	開催日／7月 23 日(月)、7月 30 日(月) 8月 3 日(金) 会 場／小ホール 対 象／幼児・児童	子どもたちの豊かな情操教育と健全な余暇活動のため、学校の夏休み期間中に実施しました。 上映作品／「ねずみくんのチョッキ」「10 ぴきのかえる」「にじいろのさかな」 「SING」ほか	421 名
		b 名作シネマ	開催日／12月 11 日(火)・ 12 日(水) 会 場／小ホール 対 象／一般	優れた映画の鑑賞機会を提供し、映画鑑賞人口の増加と、映像文化の振興を図ることを目的として、文化庁の優秀映画鑑賞推進事業等を利用し、歴史に残る名画等を上映しました。 上映作品／「大江戸五人男」 「銭形平次捕物控からくり屋敷」 「旗本退屈男」「赤穂浪士」	362 名
(3) 共催事業	(ア) 第 72 回福島県総合美術展覧会		開催日／6月 15 日(金) ～24 日(日) 会 場／2・3階展示室	主 催／福島県他	6,606 名
	(イ) ファミリーシアター		開催日／9月 9 日(日) ～12 日(水) 10月 1 日(月) ～4 日(木) 会 場／7町1村 (棚倉町、桑折町、 猪苗代町、西会津町、 金山町、只見町、 昭和村、柳津町) 対 象／児童～一般	主 催／(公社)日本児童青少年演劇協会、 開催地教育委員会 演 目／はじめに見えたもの 出 演／劇団エンゼル	
(4) 後援事業	(ア) 前進座青少年劇場公演 「龍の子太郎」		開催日／6月 24 日(日) 会 場／大ホール	主 催／一般社団法人 劇団前進座	
	(イ) 第 42 回福島県書道連盟選抜展		会 期／10月 11 日(木) ～14 日(日) 会 場／3階展示室	主 催／福島県書道連盟、 福島県芸術文化団体連合会	
	(ウ) 齋藤勝正日本画展		会 期／10月 17 日(水) ～28 日(日) 会 場／3階展示室	主 催／齋藤勝正日本画展実行委員会	
	(エ) 第 46 回福島県写真展		会 期／10月 30 日(火) ～11 月4 日(日) 会 場／3階展示室	主 催／福島県写真連盟	
	(オ) 東日本大震災復興祈念 「伊藤若冲展」		会 期／平成 31 年3月 26 日 (火)～令和元年5月 6 日(月・祝) 会 場／福島県立美術館	主 催／東日本大震災復興祈念 「伊藤若冲展」実行委員会	

公1-2 福島県文化センター関係事業関係

(1) 福島県文化会館利用者実績

(単位：人)

	大ホール	小ホール	視聴覚室	1F会議室	応接室	2F会議室	3F展示室	3Fギャラリー	小計	窓口利用者	館外利用者	合 計	前 年 度
4月	12,696	2,553	222	109	0	1,040	4,924	0	21,544	1,149	0	22,693	14,146
5月	6,937	2,974	354	73	0	1,571	3,792	0	15,701	668	0	16,369	11,909
6月	10,444	3,586	110	176	20	6,842	6,972	6,739	34,889	925	6,620	42,434	36,181
7月	16,286	3,051	46	121	9	1,256	1,446	0	22,215	1,377	3,176	26,768	9,530
8月	11,161	1,779	181	71	18	1,493	4,102	0	18,805	978	346	20,129	16,752
9月	16,233	4,092	182	116	6	2,019	3,497	0	26,145	993	1,182	28,320	12,722
10月	25,224	3,001	410	92	14	2,436	7,567	0	38,744	1,047	1,054	40,845	40,871
11月	12,773	3,475	181	84	0	2,356	6,137	1,607	26,613	734	1,282	28,629	39,769
12月	15,422	1,824	267	52	5	1,546	962	0	20,078	979	981	22,038	28,281
31年 1月	0	2,555	209	59	16	782	519	0	4,140	939	743	5,822	22,878
2月	1,200	1,104	226	93	29	1,063	1,287	0	5,002	1,173	0	6,175	13,179
3月	10,552	2,364	212	76	11	669	1,836	0	15,720	1,830		17,550	16,308
合計	138,928	32,358	2,600	1,122	128	23,073	43,041	8,346	249,596	12,792	15,384	277,772	262,526
前年度	93,376	39,885	2,690	1,440	13	23,001	63,963	8,427	232,795	10,267	19,464	262,526	

《備考》 *窓口利用者とは、会館利用に関する事で来館された人数及びプレイガイド利用者数の合計

*館外利用者とは、館外で実施したふくしま文化復興事業の参加者数

(2) 文化会館稼働日数・稼働率

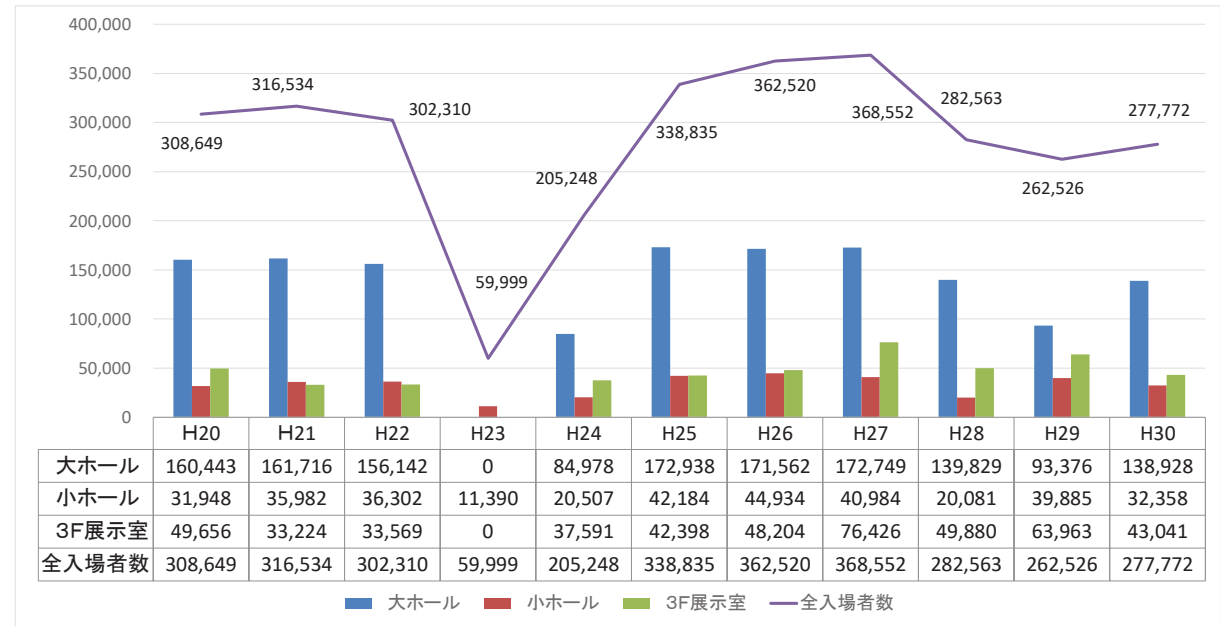
	大ホール	小ホール	視聴覚室	1F会議室	応接室	2F会議室	3F展示室	3Fギャラリー
稼働日数 (日)	200	202	121	147	107	230	269	94
稼働率 (%)	69%	62%	35%	42%	31%	69%	78%	27%
開館日数	290	325	346	346	346	333	346	346

※大ホールの舞台改修工事による利用休止（12/25～H31年2/26）のため、施設毎に開館日数を表示した。

※稼働日数は施設利用のある日数

※稼働率は稼働日数÷開館日数×100%で表わす

(3) 福島県文化会館利用者数推移



《注1》 *平成20年度からの大ホール、小ホール、3階展示室、全入場者数を表したグラフである。

《注2》 *福島県文化会館利用状況に館外利用者数並びに窓口利用者数を加えた数である。

《注3》 *平成30年度は、福島県文化会館利用状況の249,596人に窓口利用者数12,792人、館外利用者数15,384人を加えた277,772人である。

(4) 福島県歴史資料館利用者数

(単位：人)

	資料閲覧者	収蔵展入場者	館外利用者	講習会等受講者	合 計	前年度
4月	142	544	6	0	692	324
5月	115	961	120	28	1,224	704
6月	140	781	0	141	1,062	699
7月	139	695	130	295	1,259	495
8月	145	607	123	137	1,012	224
9月	127	441	790	13	1,371	2,157
10月	157	635	1,250	107	2,149	4,706
11月	130	567	1,678	14	2,389	3,062
12月	101	448	228	17	794	856
31年1月	109	218	0	133	460	1,450
2月	133	311	70	14	528	989
3月	147	353	0	0	500	583
合計	1,585	6,561	4,395	899	13,440	16,249
前年度	1,430	4,971	9,353	495	16,249	

(5) 福島県歴史資料館利用状況

		件数	人数	点数	備考
閲覧利用	地籍丈量帳	621	819	3,888	
	県庁文書	66	70	742	
	諸家寄託文書	101	109	1,099	
	図書文献	67	69	111	
	考古資料	0	0	0	
	民俗資料	0	0	0	
	写真・フィルム	0	0	0	
	その他	0	0	0	
	小計	855	1,067	5,840	
貸出利用	諸家寄託文書	4		28	福島県文化財センター白河館、伊達市保原歴史文化資料館、白河集古苑、新潟県立歴史博物館
	県庁文書	4		23	福島県議会資料展示室（複製）、白河集古苑、たばこと塩の博物館、大阪歴史博物館
	県市町村史	0		0	
	図書文献	0		0	
	その他	1		1	福島県立図書館
	小計	9		52	
事業	収蔵資料展	5	10,050		収蔵資料展、移動展（会津只見考古館・河井継之助記念館、福島県立図書館） 団体利用3件41名（福島大学阿部浩一ゼミ、喜多方市塩川公民館、福島県立図書館） ギャラリートーク12件159名
	講習会	1			地域史研究講習会
	古文書講座	4			
	フィルム上映会	3			
	博物館実習	2			筑波大学・福島大学
	講師派遣等	6			福島市（2回）、大玉村、いわき市、福島県立図書館、福島民報社
	友の会	9			
	小計	30			
合 計		894	12,685	5,892	

(6) 福島県歴史資料館資料収蔵状況

(平成31年3月31日現在)

区 分	種 別	平成29年度	平成30年度		
		現在	受入	返却	合 計
行政文書資料	福島県庁文書 (冊)	36,936	0	0	36,936
	市町村文書 (冊)	11,940	0	0	11,940
	計 (冊)	48,876	0	0	48,876
古文書資料	諸家寄託文書 (点)	138,645	347	0	138,992
	諸家寄贈文書 (点)	4,034	0	0	4,034
	複写収集文書 (点)	3,465	0	0	3,465
	その他 (点)	13,565	0	0	13,565
	計 (点)	159,709	347	0	160,056
文献	寄贈文献 (点)	38,339	0	0	38,339
	寄託文献 (点)	3,871	0	0	3,871
	購入文献 (点)	2,553	2	0	2,555
	備品図書 (点)	173	0	0	173
	計 (点)	44,936	2	0	44,938
考古資料	寄託考古資料 (点)	3	0	0	3
	計 (点)	3	0	0	3
民俗資料	寄贈民俗資料 (点)	15	0	0	15
	寄託民俗資料 (点)	8	0	0	8
	計 (点)	23	0	0	23
フィルム	資料調査フィルム (点)	131	0	0	131
	寄贈フィルム (点)	40	0	0	40
	計 (点)	171	0	0	171
特別資料	堀切善次郎家資料 (点)	288	0	0	288
	佐藤健一家中世文書 (点)	5	0	0	5
	富田健吾家絵図 (点)	4	0	0	4
	計 (点)	297	0	0	297
合 計	(点)	254,015	349	0	254,364

(7) 福島県歴史資料館事業実施状況

＜展示＞	実施期間	日数	人数
収蔵資料展「村人たちの戊辰戦争」	4/21～8/19	117	3,588
収蔵資料展「奥会津の古文書―三島町・金山町・昭和村を中心に―」	9/8～12/24	103	2,091
収蔵資料展「新公開史料展」	H31/1/19～3/24	60	882
合計		280	6,561

＜ギャラリートーク＞	実施日	日数	人数
「村人たちの戊辰戦争」	4/28、5/26、6/23、 7/28、8/18	5	77
「奥会津の古文書―三島町・金山町・昭和村を中心に―」	9/15、10/20、11/17、 12/15	4	38
「新公開史料展」	H31/1/26、2/16、3/16	3	44
合計		12	159

＜古文書講座＞	実施日	日数	人数
第1回 古文書講座	7/14	1	101
第2回 古文書講座	7/21	1	98
第3回 古文書講座	7/28	1	96
第4回 古文書講座	8/4	1	92
合計		4	387

＜講師派遣＞	実施日	日数	人数
福島民報社歴史講演会（福島市）	5/3	1	120
いわき戊辰戦争歴史講座第3回（いわき市）	7/21	1	130
大玉村歴史講演会（大玉村）	8/19	1	114
福島市戊辰戦争シンポジウム（福島市）	11/9	1	250
ふくしまを知る連続講座（福島市）	11/25	1	94
福島市文化財団体連絡協議会講演会（福島市）	H31/2/19	1	70
合計		6	778

＜講習会＞	実施日	日数	人数
平成30年度地域史研究講習会	6/30	1	103
合計		1	103

＜フィルム上映会＞	実施日	日数	人数
第1回「会津藩家老西郷頼母の会津若松城下案内」ほか2本	6/16	1	29
第2回「富岡の唐傘行灯花火」ほか2本	8/25	1	23
第3回「春よこい」ほか2本	10/27	1	97
合計		3	149

＜博物館実習＞	実施期間	日数	人数
博物館実習(筑波大学)	8/6～8/11	6	1
博物館実習(福島大学)	9/23・9/25～9/29	6	8
合計		12	9

＜他機関との連携＞	実施日	日数	人数
歴史資料館移動展「奥会津の古文書―長谷部家文書の魅力―」（会津只見考古館・河井継之助記念館）	8/31～11/4	57	2,348
歴史資料館移動展「村人たちの戊辰戦争」（福島県立図書館）	11/2～12/5	29	1,141
歴史資料館移動展関連講座「土たちの戊辰戦争」（福島県立図書館）	11/25	1	94
合計		87	3,583

＜福島県歴史資料館友の会＞	実施日	日数	人数
役員会、平成30年度総会、友の会講座5回、友の会旅行、友の会旅行事前学習など	4/6、5/13、6/18、 8/23、10/2、11/6、 12/6、H31/2/9	8	142
合計		8	142

公 2 - 1 埋蔵文化財関係事業関係

(1) 埋蔵文化財調査

(ア) 遺跡分布調査事業

a 分布調査

No	事業名	所在地	調査面積 (㎡)	調査期間	結 果
1	只見川河川整備事業分布調査	会津坂下町 ～金山町	400, 000	10/22～11/2	周知10遺跡、推定地10箇所確認

b 試掘・確認調査

No	事業名	所在地	調査面積 (㎡)	調査期間	結 果
1	一般国道115号相馬福島道路 関連遺跡	伊達市	18, 400	5/23～6/5	2 遺跡確認
2	小名浜道路関連遺跡	いわき市	9, 000	7/2～7/6	要保存範囲無
3	国道349号改良工事関連遺跡	矢祭町	6, 600	7/23～7/26	要保存範囲無
4	阿武隈川上流河川改修関連遺跡	郡山市	2, 000	9/4～9/6	要保存範囲無
合 計			36, 000		

c 報告書刊行

No	事業名	報告書名	収録遺跡名	頁 数
1	遺跡分布調査	福島県内遺跡分布調査報告25	試掘・確認調査26箇所	47

(イ) 遺跡発掘調査事業

a 発掘調査事業

No	事業名	市町村	遺跡名	調査面積 (㎡)	調査期間	時代	主な検出遺構など
1	一般国道115号相馬福島道路遺跡発掘調査	伊達市	上ノ台館 (3次調査)	5,400	5/28～8/21	縄文・中世・近世	掘立柱建物2 土坑6 柱列4 溝5 特殊遺構1
			田向	2,500	10/3～12/12	縄文・中世・近世	土坑27 溝跡25 井戸跡2 特殊遺構2
			中室内 (2・3次調査)	1,100	4/11～4/13 7/17～9/5	縄文・古墳・平安・中世	土坑17 溝15 井戸1
			荒屋敷	1,950	5/28～7/24 9/6～12/3	古墳・中世	掘立柱建物1 土坑90 溝6 特殊遺構6
		小 計	4遺跡	10,950			
2	会津縦貫南道路遺跡発掘調査	下郷町	下居平乙	1,200	6/4～7/19	縄文	竪穴住居1 土坑15
			栗林	7,200	6/11～12/14	縄文・中世	竪穴住居34 土坑111 埋甕46 配石遺構4 鍛冶炉4 焼土遺構3
		小計	2遺跡	8,400			
3	県道広野小高線(毛萱工区)遺跡発掘調査	富岡町	毛萱館 (2次調査)	5,000	6/4～11/9	弥生・中世	土塁3 堀1 門1 道1 掘立柱建物 7 柵3 竪穴住居2 土坑58 溝5 焼土遺構4 性格不明遺構20
		小 計	1遺跡	5,000			
4	県道広野小高線(浪江・小高工区)遺跡発掘調査	浪江町	鹿屋敷	6,400	7/30～H31/2/4	縄文・弥生・古墳・平安	竪穴住居38 掘立柱建物5 土坑25 溝5 性格不明遺構2
		小計	1遺跡	6,400			
5	県道吉間田滝根線遺跡発掘調査	小野町	八反田	1,700	7/18～10/12	弥生・古墳	土坑17 溝2 流路跡1
		小計	1遺跡	1,700			
6	国道349号(下関工区)遺跡発掘調査	矢祭町	宮平	2,300	7/12～11/1	縄文・奈良・平安	土坑1 焼土遺構2 流路跡1
		小計	1遺跡	2,300			
7	国道349号(大綱木工区)遺跡発掘調査	川俣町	向ノ入山	930	6/1～7/31	縄文・平安・中世・近世	竪穴住居1 竪穴状遺構1 木炭窯 1 土坑4 焼土遺構2
		小計	1遺跡	930			
8	国道114号(山木屋1工区)遺跡発掘調査	川俣町	前田	2,800	7/24～12/13	縄文・奈良・平安	埋甕1 焼土1 土坑33 遺物包含層 1
		小計	1遺跡	2,800			
9	中間貯蔵施設遺跡発掘調査	双葉町	銅谷迫	3,000	10/16～H31/2/27	弥生・奈良・平安・中世・近世	竪穴住居9 掘立柱建物3 土坑11 溝6 性格不明遺構1
		小 計	1遺跡	3,000			
合 計		1市7町	13遺跡	41,480			

b 報告書刊行

No	事業名	報告書名	収録遺跡名	頁 数
1	一般国道115号相馬福島道路	一般国道115号相馬福島道路遺跡発掘調査報告7	上ノ台館跡（2次）中室内遺跡（1・2次） 日照田遺跡 館ノ前遺跡	314
2	阿武隈川上流河川改修	阿武隈川上流河川改修（高木地区）遺跡発掘調査報告	高木遺跡	1, 110
3	常磐自動車道	常磐自動車道遺跡調査報告74	大谷上ノ原遺跡	336
合計		3 冊	6 遺跡	1, 760

(ウ) 県内市町村埋蔵文化財調査への技術協力事業

分布調査・確認調査・本発掘調査・その他										
No.		市町村名	遺 跡 名	面積（㎡）	時 期	期 間	業務内容	遺 構	遺 物	備 考
1	会津	湯川村	堂後遺跡	200	平安・中世	7/30～8/30	範囲確認調査	土坑・柱穴・小穴	土師器・かわらけ・陶磁器・銭貨	村内遺跡整備
2		会津若松市	墓料遺跡	1,800	縄文・弥生	8/20～24 9/10～9/14	発掘調査	堅穴住居・再葬墓・土坑・溝跡・小穴	縄文土器・弥生土器・石器	地区住宅建設
3		三島町	大石田居平遺跡	100	縄文	8/27～8/31 9/3～9/7	発掘調査	堅穴住居・土坑・焼土遺構小穴	縄文土器・石器	地区集会所建設
						12/3～12/7	遺物整理	—	—	
4	中通り	鮫川村	姿平西製鉄遺跡	35	中世・近世	4/16～4/19	確認調査	製鉄炉跡	鉄滓・土製品	国道289号渡瀬バイパス整備工事
5		郡山市	田村町糠塚字池尻地区	約100,000	中世～現代	4/24～4/26	分布調査	製鉄炉跡・木炭窯跡	鉄滓・土師器・磁器	産業廃棄物処理施設建設
6		小野町	北ノ内遺跡 ON－B1～10	約110,000	—	5/21～23 10/9～12 10/15～19	試掘・確認調査	—	縄文土器・土師器・石器・鉄滓	浮金第二地区基盤整備事業
7		二本松市	原瀬上原遺跡	2,300	縄文時代	6/4～6/6	確認調査	柱列・小穴	縄文土器・石器	ライスセンター建設
8		矢吹町	鬼穴古墳群	3,080	古墳時代	7/9～7/13 7/17～7/20	範囲確認調査	周溝・土坑・溝跡・小穴	縄文土器・土師器・埴輪	災害復旧事業
						9/20	範囲確認調査追加調査			
						H31/3/7	遺物整理	—	—	
9		川俣町	河股城跡	113	中世・近世	9/18・19	確認調査	—	縄文土器・土師器・陶磁器・銭貨	消防屯所建設
10	宮前遺跡		350	平安時代～中世	H31/2/5・6	確認調査	遺物包含層	縄文土器・土師器・須恵器・陶磁器・瓦・石器・銭貨・鉄滓	個人住宅建設	
11	泉崎村	原山古墳群	50	古墳	9/25～28 10/1～5	範囲確認調査	墳丘・周溝	縄文土器・土師器・埴輪	町内遺跡整備	
12	鏡石町	農業基盤整備高久田地区	591,000	—	11/19～22	分布調査	—	—	高久田地区基盤整備事業	

* 市町村数及び延べ事業数

3市5町3村（会津：1市1町1村、中通り：2市4町2村）延べ 12事業

(2) 文化財センター整備業務

(ア) 脆弱資料の劣化防止・保存処理業務

箇所	内 容	数 量
桶師屋遺跡（南相馬市）など	搬送のための劣化防止処置	12,000件
鶴沼C遺跡（会津若松市）など	保存処理（木質遺物）	50件
朴迫D遺跡（浪江町）など	保存処理（金属質遺物）	50件
合 計		12,100件

(イ) 保管資料の搬送業務

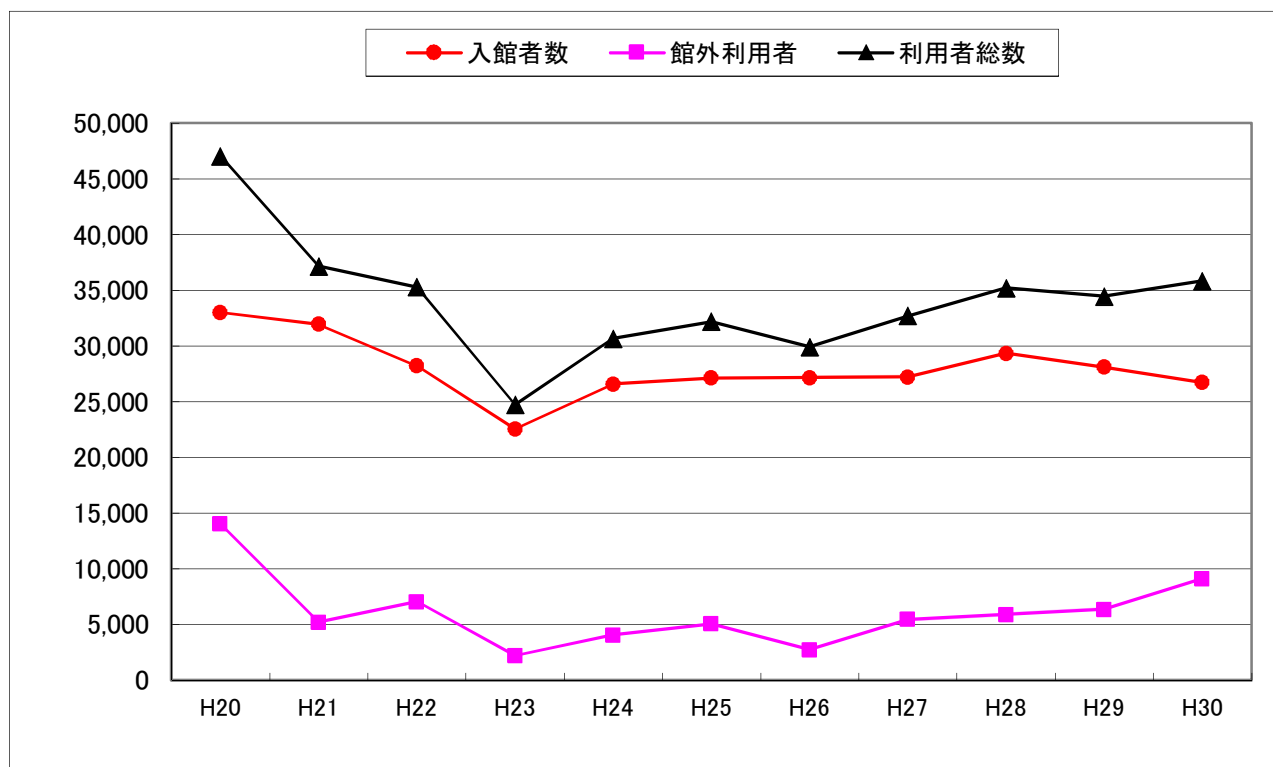
箇所	内 容	数 量
県道浪江鹿島線関連遺跡発掘調査 植松C遺跡（南相馬市）など	出土遺物（土器・石器）	855箱
農山村地域復興総合整備事業関連遺跡発掘調査 桶師屋遺跡（南相馬市）など	未処理金属質遺物・木質遺物	38箱
農山村地域復興総合整備事業関連遺跡発掘調査 谷地中遺跡（南相馬市）など	写真等	41箱
合 計		934箱

公2-2 福島県文化財センター白河館関係事業関係

(1) 平成30年度利用者数

	年齢別属性		地域別属性		入館者数 ①	館外利用者 ※ ②	総利用者数 ①+②	前年度
	幼小中高	一般	県内	県外				
4月	1,331	1,207	2,215	323	2,538	80	2,618	2,635
5月	1,420	1,946	2,815	551	3,366	1,034	4,400	3,449
6月	1,818	1,262	2,557	523	3,080	414	3,494	4,583
7月	921	1,420	1,901	440	2,341	1,376	3,717	3,335
8月	1,213	1,753	1,691	1,275	2,966	1,185	4,151	4,464
9月	979	1,273	1,832	420	2,252	151	2,403	2,493
10月	880	1,125	1,741	264	2,005	1,154	3,159	4,119
11月	712	1,648	2,071	289	2,360	3,171	5,531	2,609
12月	482	803	1,008	277	1,285	71	1,356	1,419
31年1月	497	663	1,054	106	1,160	239	1,399	1,443
2月	643	1,026	1,548	121	1,669	142	1,811	2,548
3月	521	1,188	1,310	399	1,709	98	1,807	1,365
合計	11,417	15,314	21,743	4,988	26,731	9,115	35,846	34,462

(2) 利用者数の推移



※館外利用者とは、館外における文化財研修やおでかけまほろんなどの利用者及び館外での移動展示の観覧者数

(3) 資料の活用状況

	件数
文化財データベース公開数	391, 187
文化財データベースアクセス数	165, 653
収蔵品館内閲覧	26
写真等掲載・転載	30
出土品貸出し	11
復元品・模型等貸出し	5

(4) 常設展示室の展示替え内容

コーナー	主な展示品	展示替え（更新）回数
「暮らしのうつりかわり」	実物資料の展示更新	1
「話題の遺跡」	東日本大震災復興関連遺跡の調査など	5
「みんなの研究ひろば」	新地高校研究成果「大津波伝承の研究」など	6
「しらかわ歴史名場面」	白河市一里段A遺跡（旧石器）ほか	4
「重要文化財公開」	国指定重要文化財 法正厩遺跡出土縄文土器	5
「土器年代測定結果公開」	湯川村桜町遺跡出土弥生土器ほか	3
新春干支特別展示	郡山市荒小路遺跡出土イノシシ型土製品など	1

(5) 企画展の内容

名称	開催期間	人数（延べ）
収蔵資料展 1 「JOMONワンダーランド」	4/21～6/17	6, 472
収蔵資料展 2 「縄文土器の逸品」	7/7～9/2	5, 498
指定文化財展 「白河市天王山遺跡の時代」	9/29～11/25	4, 455
ふくしま復興展 「はま・なか・あいづ再生史」	12/15～H31/3/17	4, 350

(6) 体験学習

館外学習	開催箇所	人数（延べ）
おでかけまほろん	34	895
まほろん出前講座	4	105
まるごとまほろん	7	3, 217
募集型	回数・開催日	人数
実技講座	13回	延べ 118
まほろん森の塾	6回	延べ 62
GWまほろんまつり	5/3～5	1, 863
まほろん夏まつり	7/22	444
まほろん感謝デー	11/18	720
まほろん冬まつり	H31/2/17	675
常時体験型	通年	延べ18, 070

(7) 講演会等

館長講演会 シリーズ『未来への考古学』	開催日	人数
第1回「ことばと文字と考古学」	5/19	31
第2回「北の縄文スピリット」	7/28	48
第3回「北からみた縄文と弥生」	9/29	43
第4回「東の日本人、西の日本人ー日本文化の地域差と多様性を考えるー」	12/15	21
第5回「考古ニュースを解説する」	H31/2/2	24
合計		167
文化財講演会・講座等	開催日	人数
講演会「縄文マジカルミステリー」	4/28	43
講演会「縄文中期の集落ー法正尻遺跡を中心にー」	6/16	77
講演会「縄文後晩期の社会を考える」	7/28	41
講座「縄文後期の土器と文化」・「縄文晩期の土器ーふくしまの亀ヶ岡式」	9/1	59
講演会「卑弥呼の時代のふくしま」	10/13	53
講演会「天王山遺跡のいま」・「『弥生時代』をどうみるか」	11/10	115
講演会「旧・新沼浦の入浜式製塩遺跡」・「慶長奥州津波からの復興ー仙台藩・相馬中村藩の塩田開発ー」	12/16	28
ビデオ上映会	H31/1/19	11
合計		427

(8) 文化財研修等

基礎研修	開催日	人数
文化財保護・活用基礎研修「繊維と考古学に関する基礎知識」	7/1	7
無形の文化財研修「無形民俗文化財保護の考え方ー文化財保護法の改正を受けてー」	H31/1/19	6
地方史研修「ふくしまの古墳時代の幕開けーそして建鉾山祭祀遺跡へー」	H31/2/23	23
地方史研修「縄文時代の栃木と福島ー袋状土坑・複式炉・配石と土器棺墓のころー」	H31/3/10	23
合計		59
専門研修	開催日	人数
文化財保護・活用専門研修「有機質文化財の保存について」	7/1	10
考古学専門研修「弥生土器のみかた」	10/13	28
文化財保護指導者研修会	10/30・31	延べ 123
文化財と関連科学研修「災害痕跡の把握について」	H31/3/10	22
合計		183
特別研修（職員派遣研修）「弥生土器観察学習会」（会津若松市）	H31/3/15	28

(9) 他機関との連携

内容	開催日	連携機関
シンポジウム「ふくしまの未来へつなぐ、伝えるⅡ」共催	4/21	ふくしま歴史資料保存ネットワーク事務局
まほろん移動展「双葉高校史学部の歩み」	5/3～6/6	福島県立図書館
	7/7～8/20	富岡町教育委員会
	11/17・18	福島大学
	H31/1/13～3/29	檜葉町教育委員会
全国植樹祭PR会場（白河駅前）への出展	6/10	全国植樹祭実行委員会
移動水族館の開催（白河館正面玄関前）	11/17・18	公益財団法人福島県海洋科学館
移動図書館の開催（白河館正面玄関前）	H31/2/17	福島県立図書館
まほろん夏まつりへの出展	7/22	国立那須甲子青少年自然の家
		国立磐梯青少年交流の家
		那須高原ビジターセンター
		那須平成の森フィールドセンター
いなわしろフェスティバルへの出展	10/14	国立磐梯青少年交流の家
なすかしの森ファミリーフェスティバルへの出展	10/21	国立那須甲子青少年自然の家
那須ビジ秋まつり	11/17・18	那須高原ビジターセンター
まほろん冬まつり	H31/2/17	国立那須甲子青少年自然の家

令和元年6月7日

監査報告書

公益財団法人 福島県文化振興財団

理事長 杉 昭 重 様

監事 齋 藤 忠 
監事 若 賀 裕 

私たち監事は、平成30年4月1日から平成31年3月31日までの事業年度の理事の職務執行を監査しましたので、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第99条第1項(並びに公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律施行規則第33条第2項)の規定に基づき本監査報告書を作成し、以下の通り報告します。

1. 監査の方法及びその内容

私たち監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、当公益財団法人の事務所において、業務及び財産の状況を調査いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る財務諸表(貸借対照表及び正味財産増減計算書)及びその附属明細書について検討いたしました。

2. 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。
- ③ 内部統制システムの整備に関する理事会決議及びその体制下の理事の職務執行は、相当と認めます。

(2) 財務諸表及びその附属明細書の監査結果

財務諸表及びその附属明細書は、法人の財産及び損益の状況を全ての重要な点において適正に示しているものと認めます。

以上